

日本共産党 石田 秀三 議員

「空き家条例」の制定について

(質問) 旧市街地や農村の中に住む人のいなくなった空き家が増えている。管理不全な空き家の老朽化、荒廃による住環境の悪化、自然災害による倒壊や火災の危険が問題となり、空き家対策の条例を制定する自治体が増えている。鈴鹿市でも検討する時期ではないか。担当窓口を決め、現地調査、所有者や管理者の実態把握、関係者との協

議と解決を進め、周辺に危険が及ぶような場合には必要最小限の措置もできる権限をもった体制の構築を求める。

(答弁) 県下でも「空き家条例」を制定する市が出てきているが、本市でもいま関係部局で条例化も視野に入れた、空き家問題の内部検討を行っているところである。管理不全な空き家の担当窓口は建築指導課とし、実効のある対応策ができるようなものにしていきたい。

その他の質問 ○国民健康保険について

日本共産党 森川 ヤスエ 議員

子ども医療費の拡大・充実を求める

(質問) (1) 子ども医療費無料は中学生の通院も無料にすること。全国1,742自治体のうち47.59%の829自治体が子ども医療費を中学卒業まで市町単独財政で無料にしている。鈴鹿市も通院も中学校卒業まで無料にすることを求める。
(2) ほとんどの自治体は所得制限を行っていない。所得制限をなくすこと。

(3) 窓口無料化を県下一律にこだわらず、できる方法を考えていくべきである。

(答弁) (1) 居住地による格差解消も重要であることから近隣市町の動向を見つつ、今後の課題としたい。

(2) 一部の高額所得者のみが対象外となっており、多くの方が受給できる状況である。

(3) 一部地域での実施の可能性を検討していきたい。

その他の質問 ○広域連合の解散を求める

平明の会 矢野 仁志 議員

教育委員会について

(質問) 教育委員会の組織改革にあたり、どのような方針で運営を行うのか。また、教育委員会や学校現場での人事について、経験等を重視した適切な対応をすべきではないか。

(答弁) 6所属の事務を4課へ再編し、迅速で効率的かつ実効性のある教育委員会事務局の運営と、質の高い行政サービスを提供する組織体制を整える。人事について、教育委員会事務局は、

学校・園の現状を把握しつつ、教育振興基本計画及びアクションプランの具現化を図ることができる教職員を登用する方針である。

また、学校現場については、三重県教育委員会の教職員人事異動基本方針に基づき、校長の意見を尊重しながら、教職員の年齢・教科・勤続年数等を考慮し行う。

その他の質問 ○教育長の素質について
○学校教育について
○消防について

市民クラブ 太田 龍三 議員

近鉄磯山駅周辺の総合的な整備について

(質問) 通学路でもある磯山駅南側踏切の東西側道路の現状を把握しているのか。対策の必要性と方法及び今後の取り組みについてはどうか。

(答弁) 踏切から東西側道路においては、いずれも道路幅が狭く交通量も多いので、通勤・通学時の歩行者の安全確保のため、歩行空間整備の必要性がある。通学路の危険箇所の報告も受け、危険

性は認識しておりグリーン帯を設置した箇所もある。今後も警察や道路管理者との連携を図っていく。踏切の拡幅については、地元調整や踏切の統廃合等の条件もあり時間と困難を要するが、地元自治会からの安全対策工事の要望もあり、国庫補助事業の活用など効果的な事業手法を検討しながら、近畿日本鉄道と歩道設置の可能性について協議していく。

その他の質問 ○地震・津波に対する対策
○ふるさと納税について